

令和３年第２回宝塚市議会（定例会）代表質問一覧表

令和３年６月２日（水）～４日（金）

	会 派	議 員 名	発言時間	予定時間
6月2日	たからづか真政会	大川 裕之 議員	110分	9:30～11:20
	公明党議員団	江原 和明 議員	110分	12:40～14:30
	日本共産党 宝塚市会議員団	田中 こう 議員	110分	14:45～16:35
6月3日	ともに生きる 市民の会	大島淡紅子 議員	110分	9:30～11:20
	日本維新の会 宝塚市議団	池田 光隆 議員	110分	12:40～14:30
	無所属の会	田中大志朗 議員	100分	14:45～16:25
6月4日	市民ネット宝塚	寺本 早苗 議員	110分	9:30～11:20
	令和安全の会	北山 照昭 議員	110分	12:40～14:30

※ 議事の進行により、若干時間が前後することがあります。

順位	発言事項及び発言者
1	1 市政運営の基本方針について (1) 財政難をフェイクニュースと表現した市長は、正確な情報の共有とそれに基づく共通認識をどのように行うつもりなのか (2) 市民がまちをデザインするとあるが、何種類にもデザインされた宝塚市を実現することは不可能だと考えるが、どうか (3) 職員はまちづくりをデザインできるプロフェッショナルを目指すべきと考えるが、あくまでまちをデザインするのは市民なのか (4) 近年の市立学校での不祥事や重大事故を受けて、何を根拠に「教職員もみんな子どものことを思っています」と言えるのか。これまでの議論と引き起こされた事件、事故を軽視していると思えないが改めて見解を求める (5) 教員による傷害事件や厳し過ぎる指導による転落事案などを教員の心のゆとりを持つことで解決できると考えているのか。「宝塚市特有の特殊な関係」がある学校現場と教育委員会の関係改善こそが、まず手をつけるところではないのか (6) 市立病院の経営安定化を図り、人口減少と高齢社会に対応できる「在り方」を検討とあるが、市長による方向性がないまま検討をするだけでは現状を何も変えられない。どこにどんな問題があると考えているのか (7) コロナにより人・空間・仕事などが分断されているとあるが、これらをつなぐ対策とは具体的に何か (8) 子育て支援、高齢者支援、障がい者支援に力を入れて取り組むとのことだが、一部の事業は改廃の対象となっているはず。何を行い、財源をどう考えているのか (9) 再生可能エネルギー導入による地域活性化を掲げているが、どこを目標に、何を成果として取り組んでいくのか (10) 果敢に挑戦とあるが、宝塚市の厳しい現状を踏まえ、改革に向けた市長の覚悟を改めて問う 2 主要な施策について (1) 都市経営 ア 公共施設マネジメントは、床面積の削減や維持保全が主な目的ではなく、機能の再検証・再定義を行う事業である。これまでの取組をどのように変革していくのか イ 企業等と包括連携の取組を進めるとあるが、どのような連携を想定しているのか ウ 新規事業や拡充事業について、成果による評価・改善を行える体制となつて

	いるのか (2) 安全・都市基盤 ア 公共交通、特にバス事業は厳しい状況にあるが、それらを解決するための「地域公共交通計画」となるのか イ 旧宝塚ホテル跡地の開発により、宝塚南口駅周辺の交通渋滞悪化が予想されるが、市道の拡幅改良は十分な対策となっているか ウ 人口減少を見据えて、宝塚市の都市計画やまちづくりはどのように変化していくべきと考えるか (3) 健康・福祉 ア 認知症高齢者等個人賠償責任保険事業について、賠償リスクを保険に移転するだけの事業に、なぜ市が関与するのか イ 産後ケア事業の拡充と医療用ウィッグ助成の新設が挙げられているが、民生費の上乗せ横出し事業見直しの議論との整合性について説明を (4) 子ども・教育 ア 発達相談やスクールロイヤーなどの専門職の配置について、全国的な取組となってきたが、問題に精通した人材を持続的に確保するための取組はどのように行われているのか イ 相談窓口の設置は重要であるが、一方、乱立は非効率と混乱を招くおそれがある。相談窓口の全体像を把握し、市民に使いやすい窓口へと改善していく体制はどのように構築するのか (5) 環境 ア 新ごみ処理施設の整備に関して、プロポーザルではなく、総合評価方式を採用した理由は (6) 観光・産業・文化 ア 新規事業創出の支援については、使いやすいことが重要であるが、デザイン経営へ特化した理由は何か イ 全国トップクラスのシェアを誇るダリア生産の「拡大」に投資する理由は ウ 文化芸術センターは、手塚治虫記念館や文化創造館とは一体の施設である。回遊性は、もっと広いエリアで高め、中心市街地のにぎわいを活性化すべきでは (たからづか真政会 大川 裕之 議員)
2	1 市政運営の基本方針について (1) 「あなたにOPEN」「暮らし・経済をOPEN」の内容 市民と行政の双方向の正確な情報共有。どこまでOPENするのか

	(2) 「教育をOPEN」 ア 教育現場に専門職を配置強化する、具体的人数、効果について イ 教育現場における課題等に関しての市長の認識と改善に向けての決意 (3) 「暮らし・経済をOPEN」 市立病院の経営状況に関しての市長の認識と、在り方検討の内容 2 令和3年度予算の主要施策について (1) 都市経営 ア 自治体DX推進計画の情報システムの標準化・共通化、行政手続のオンライン化、AI・RPAの利用促進の具体的取組内容 イ 生理用品の配布による支援としての新たな取組内容 (2) 安全・都市基盤 ア 地域公共交通計画の策定の目的、期間、内容 イ 旧宝塚ホテル跡地開発構想届を受けて、市としての空間整備の内容 ウ 上下水道事業経営戦略における、経営予測と値上げ予測 (3) 健康・福祉 ア 新型コロナウイルスワクチン接種の今後の対象者への予約について イ 認知症高齢者等個人賠償責任保険事業の実施時期と内容 ウ 医療用ウィッグ購入など、がん患者アピアランスサポート事業の内容 (4) 子ども・教育 ア 子ども家庭総合支援拠点の総合相談窓口の設置に向けた取組内容 イ 子どもの貧困対策計画の取組内容 ウ 教育現場の専門職活用の仕組み構築について、調査研究のみで終了か (5) 環境 ア ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH）新築助成制度の内容 イ 新ごみ処理施設の整備で、入札公告から提案書提出まで期間が長過ぎるのでは ウ 宝塚すみれ墓苑の樹木葬式墓所整備内容と、現状のその他貸出実績 (6) 観光・産業・文化 ア 商工業の活性化に新たなビジネスモデル事業者支援とあるが、コロナ禍での市内商工業者の経営支援が優先されるべきではないか イ ウェルネスツーリズム推進事業は、宝塚市で実現可能なのか （公明党議員団 江原 和明 議員）
3	1 市民の「いのちとくらし」を守るために

- (1) 新型コロナウイルス感染症対策の強化を
 - ア 大規模なPCR検査の実施を
 - イ 医療機関への支援と病床数の確保を
 - ウ ワクチン接種について、国は「高齢者接種を7月末完了」と目標設定しているが、現場の実態は
 - エ 事業者への支援を
- (2) 国民健康保険について
 - ア 高過ぎる保険税の引下げを
 - イ 自営業者・フリーランスにも国保の傷病手当を
- (3) DV対策や自殺者を防ぐための施策強化を
- (4) コロナ禍での納税相談体制は
- (5) 「人口減少や高齢社会に対応できる市立病院」が目指す方向は
- (6) 樹木葬式墓所整備のスケジュールは
- (7) 公共施設（建物施設）保有量最適化方針の計画変更は
- (8) 新ごみ処理施設について、費用や業務内容のチェック機能は果たせるのか

2 高齢者も現役世代も障碍のある人も安心できる公的制度を

- (1) 必要な介護が保障される介護保険制度に
 - ア 利用料・保険料の減免制度の拡充を
 - イ 保険料滞納のペナルティー見直しを
- (2) 特養ホームの待機者をゼロに
- (3) 切れ目なく治療と支援を行う認知症対策を
- (4) 基幹相談支援センターの果たす役割は

3 一人ひとりの健やかな成長を願い、安心して子育てできる制度の拡充を

- (1) 現在の保育所待機児童数と保育施設の新設整備について
- (2) 保育料の負担軽減を
- (3) 子どもの医療費無料化の拡充を
- (4) 子ども、保護者、教職員がそれぞれの立場で相談できる窓口とは具体的にどのようなものか
- (5) 就学援助の拡充を
- (6) 学校給食費の無償化を

4 憲法を守り、平和と人権が尊重される市政を

- (1) 憲法の理念を守りいかす市政を
- (2) 憲法9条をいかした平和の取組を
- (3) 日本政府に核兵器禁止条約に参加するよう求める行動を

	(4) 選択的夫婦別姓について、市長の見解は (日本共産党宝塚市会議員団 田中 こう 議員)
4	1 公約である「OPEN」について (1) あなたにOPEN ア 市民と行政の双方向の正確な情報の共有として (ア) 対話集会の実施はされるのか (イ) SNS活用の拡充及び小まめな発信をめざされないのか イ 公益通報者保護制度について保護の徹底はどうすればよいと考えるか (2) 暮らし・経済をOPEN ア 新病院事業管理者が描く公立病院の在り方及び今後の方向性は イ 人と人、人と空間、人と仕事をつなぐ対策とは 2 宝塚市政の独自性とは (1) 宝塚市の魅力や市政での独自性は何か 3 都市経営 (1) 変革と協働による行財政経営でのDXが、市職員に及ぼす影響は (2) 性的マイノリティに寄り添うまちづくりを標榜するなら、当事者職員を配置すべきでは (3) 男女共同参画に関して ア コロナ禍で増えたDV対応は今までとは違う対応が必要か イ 生理用品配布を18～22歳に限定した理由は ウ 男性職員対象の出産補助休暇及び育児休業等の取得状況と取得率UPのための方策は 4 安全・都市基盤 (1) 都市計画道路荒地西山線小林工区の早期完成の方策は (2) 北部地域への移住促進策及び土地利用規制の弾力的運用とは 5 健康・福祉 (1) 認知症高齢者等個人賠償責任保険事業の概要と市に帰属する責任の範囲は (2) がん患者アピアランスサポート事業の意義は (3) 新型コロナウイルスワクチン接種申込みの方法及び周知のこれまでの検証は (4) 地域生活支援拠点等の整備及び基幹相談支援センターの実施状況

	6 子ども・教育 (1) 子ども家庭総合支援拠点の総合相談窓口を新庁舎に設置する理由及び家庭児童相談室との関係は また専門職配置の内容は (2) 西山小学校区の放課後児童健全育成事業における待機児童対策について (3) 教職員による児童生徒への体罰・ハラスメント対策は (4) 学校での専門職をより効果的に活用する仕組みとは (5) 教育支援センター小学部整備の概要及び財源等は (6) 学生総合相談窓口の事業概要は (7) 宝塚自然の家再オープンの概要は (8) デジタルアーカイブ・サイトの学校での活用は (9) コロナ禍での子ども ア 心の問題への影響は イ スクール・サポート・スタッフの配置は 7 環境 (1) ZEH助成金制度 ア ZEH-M等は対象になるのか イ 財源及び金額は妥当か (2) 樹木葬式墓所の市民ニーズの把握は (3) 西谷地区の再生可能エネルギー事業の見通しは 8 観光・産業・文化 (1) 民間支援施設や宝塚商工会議所と連携した起業・経営基盤の強化促進・中小企業の事業承継支援事業の概要は (2) デザイン経営、地域産業などへの波及効果が期待できる新たなビジネスモデルを立ち上げようとする事業者支援の概要は (3) ウェルネスツーリズム推進事業の概要は (4) アートを通した観光まちづくり事業での文化芸術センター～日常的に訪れたい施設～の位置づけは (ともに生きる市民の会 大島 淡紅子 議員)
5	1 市政運営の基本方針について (1) 市民と行政の双方向の正確な情報の共有について

ア 本市の政策を含め市民と行政の双方向の正確な情報の共有はどのように対応し、伝えていくのか

(ア) 発信力について

(イ) 情報収集力について

(ウ) 人材登用力について

(エ) 責任力・決断力について

イ 本市における財政状況の認識について

ウ 新型コロナウイルス感染症対策として国からの交付金を活用していくということだが、時代に適合した市政が求められる中、他の政策面において国からの交付金、補助金の活用について方向性は

(2) 新型コロナウイルス感染症について

ア ワクチン接種の促進の取組について、他市では政府方針の7月末で高齢者への接種の終了に伴い、接種計画を見直しているが、本市としての見直し状況は

イ 現時点で65歳以上、6万7千人に対する計画が出ていないが、8月末での予測が4万人程度だと把握しているが実情は（接種率）

ウ 8月末までに何パーセント完了計画を立てているのか

(3) 公立病院として、また、地域医療支援病院として、近隣の病院や診療所との連携について

ア 市立病院として、近隣の病院や診療所との連携について具体的にどのようにアプローチしているのか（営業的・戦略的な部署はあるのか）

イ 連携を強めることにより、経営の安定化を図るビジョンは

ウ 市立病院について、これまでの経営見通しの甘さなどから赤字が膨らみ、その赤字を一般財源で補填する構図が続いていた。経営の安定化を図るとともに、人口減少や高齢化社会に対応できる市立病院の在り方についても検討を進めるとあるが、いつまでに具体的なビジョンを示すのか

(4) 経済対策について

ア 北部地域について、地域循環型の先進都市として、新たな価値を生み出す持続可能な都市を目指すとするが、地域循環型の先進都市として目指す都市とは

(5) 時代にふさわしい行財政経営について

ア 新たな行財政経営方針を早急に策定とあるが、いつまでに示すという目標は

イ DX（デジタルトランスフォーメーション）に取り組み、スピード感を持ち、従来の行財政経営の仕組みや業務の効率化の変革、社会の変化、課題に的確に対応できる組織を目指すとするが、自治体や行政におけるDX推進の意義、推進すべき理由について

2 令和3年度予算に関する主要な施策

(1) 都市経営

ア 国が示す「自治体D X推進計画」に沿って、本年度から2か年でD Xの基盤の基礎づくりをするとあるが、課題とポイントについて

イ 建物施設の維持保全について、「一定の予算を優先的に配分する」とあるが、充当可能な財源はどれくらいを想定しているのか

ウ 建物施設の維持管理について、公共施設（建物施設）保有量最適化方針により、令和3年度に土地を売却又は貸付することにより生じる収益の見込額はどのくらいあるのか

エ 企業、大学などとの連携について、地域の活性化や人材育成などを目的とし、包括連携に取り組むとあるが、包括なのか、個別分野なのか、連携の在り方についての方向性は（優先順位）

(2) 安全・都市基盤

ア 防災減災への取組として、新型コロナ禍における避難所運営について、県との連携は

イ 旧宝塚ホテルの跡地、宝塚南口駅前の空間整備について、広く市民に情報提供するべきと考えるが、進捗状況は

ウ 公共交通に関して、高齢化の進行によって移動が困難になる方の増加に伴い、「地域公共交通計画」の策定とあるが、交通不便地域の対策は

エ 北部振興では、北部地域の土地利用規制弾力的運用の制度の活用とあるが、「国家戦略特区」の活用についての運用は

（構造改革特区・総合特区について）令和3年5月19日改正

(3) 健康・福祉

ア 新型コロナワクチン接種について、コロナワクチンの接種を円滑に進めていくために、市職員の応援など業務に係る人員配置はどうなっているか。接種完了に向けた具体的なスケジュールは

(4) 子ども・教育

ア 保育士確保に向けた保育士宿舎借り上げについて、事業開始後の充足率の変化は

イ 保育分野では、待機児童解消に向けて定員90人の認可保育所の分園整備を進めると方針を示したが、宝塚市の令和3年4月1日時点の待機児童数は

ウ 前市政においても重要課題としていたが、待機児童数は減らなかった経緯を踏まえて、原因分析と今後の対策は

エ 教育での、いじめ防止への取組について、いじめを早期に発見し、速やかに対応するとあるが、具体的にどのように取り組むのか

オ 不登校の児童生徒は年々増加傾向であり、近年、低年齢化が顕著とあるが、これらの原因と対策は

カ GIGAスクール活用推進計画について、コロナ禍においてオンライン授業などにも今後対応できるのか

	(5) 環境 ア 緑地保全における公園整備について、実施計画の中で、既設公園整備（遊具新設事業）があるが、産業建設常任委員会でも質疑しているが、健康遊具の増設についての対策は (6) 観光・産業・文化 ア キャッシュレスポイント還元事業について、昨年9月に実施した事業の振り返りはできているのか イ 農業振興について、植木産業振興の拠点となるあいあいパークにおいて、コロナ禍においても園芸を楽しむ人が増えているニーズを踏まえ活性化を図るとあるが、具体的なビジョンは （日本維新の会宝塚市議団 池田 光隆 議員）
6	1 令和3年度施政方針について (1) あなたにオープンに関して ア 市長は、「市民の皆様の声を聞かせていただく」と述べているが、市長がそのために必要と考えていることは何か イ 市長は、「新しい宝塚市は、市民がデザインするまちを実現するために、行政がバックアップしていくもの」と述べているが、現在第6次まで策定してきた総合計画とは別のやり方が必要ということか (2) 教育をオープンに関して ア 市長は、「子どもの声をもっと受け止めることができるよう、教育現場を整えていきます」と述べているが、教育現場を整えるために必要なことはそれだけか。職員組合と行政との間の積年の関係をどう考えるか イ 市長は「子ども、保護者、教職員がそれぞれの立場で相談できる窓口を外部に設置したい」と述べたが、どのような仕組みを構想しているのか (3) 暮らし・経済をオープンに関して ア 市長は、市立病院では、通常医療を安定して提供し、公立病院としての使命を果たしていくと述べているが、市立病院はあくまでも公立病院として維持するということか イ 市長は、「新型コロナウイルス感染症により、人と人が分断され、人と空間が分断され、人と仕事が分断されています」と述べているが、何をどのように解決するべきと、考えているのか ウ 市長は、「市民の誰もが性別や障害、年齢、立場などによって差別されることのない、人権が守られるまちを維持していきます」と述べているが、市長は今現在、宝塚でどのような差別が問題であり、どのように解決しなければなら

	ないと考えているのか エ 市長は、「事業者の方々の、それぞれの活動が横につながるにより、大きな力としていくことを目指します」と述べているが、事業者の活動が横につながるとはどのような意味か。それは市の経済政策として可能か オ 市長は、「再生可能エネルギー導入をはじめとする、地域活性化に向けた取組を進めます」と述べたが、再生可能エネルギー導入と地域活性化がどのように結びつくのか (4) ごみ処理・上下水道・財政について ア ごみ処理施設の建て替えは喫緊の課題であるが、そのための基金は十分確保できているか ごみ処理の有料化を検討する必要はないか イ 宝塚市の上下水道は、いずれも赤字予算を余儀なくされ、特に下水道は過去の膨大な借金返済に追われる状態に陥っている。料金値上げもやむなしと思われるが、市の考えは ウ 市長は、選挙運動期間中に市民に配布されたビラにおいて、宝塚市の財政は問題ないとの認識を示されていたが、今でもこの認識に変わりはないか (5) 市長は施政方針全体を通じて、何事もオープンに市政を運営したい、との意図を示されたと理解しているが、そのためには何が重要であると、市長は考えるか。私はまず議会で自ら進んで答弁に立っていただくことが重要と思うが、いかがだろうか (無所属の会 田中 大志朗 議員)
7	1 市政運営の基本方針について (1) 「あなたにOPEN」 ア 「市民と行政の協働によるまちづくり」の到達度と課題をどう捉えているか イ 「市民がデザインするまちを実現するために行政がバックアップする」とあるが、市民とは。市のビジョンとの整合は (2) 「教育をOPEN」 ア 専門職の活用と「子ども、保護者、教職員がそれぞれの立場で相談できる窓口を外部に設置」とあるが、現状と課題は。「足らず」は何か (3) 「暮らし・経済をOPEN」 ア 人口減少や高齢社会に対応できる市立病院の在り方についての検討とは イ 地域資源の活用による再生可能エネルギー導入をはじめとする地域活性化について。市長が選挙で掲げられた「新たな産業創出」につながるのか

2 令和3年度の主要な施策について

(1) 都市経営

ア 自治体DX推進計画に沿った基盤づくりに向けた取組の内容とスケジュールは

イ 経済的困窮者への生理用品配布について具体的な方法は。児童生徒にも配布を

(2) 安全・都市基盤

ア 自然災害発生時の「自助」「共助」の備え等防災・減災に向けた啓発は進んでいるか

(3) 健康・福祉

ア 新型コロナウイルスワクチン接種の進捗と対象者への予約など今後の課題は

イ 障害のある人を地域全体で支える相談支援体制について

(4) 子ども・教育

ア 子ども家庭総合支援拠点の総合相談窓口について

イ 発達相談の充実に向けた専門職の配置について

ウ 「子どもの貧困対策計画」の推進状況とひとり親家庭支援、給付型奨学金について

エ 保育施設における待機児童の現状と解決策、保育士確保策の効果は

オ GIGAスクール活用推進計画における授業ICT化の取組について

カ 不登校児童のための教育支援センター小学部は早期の開設を

キ コロナ禍で「学びの継続」が困難になっている学生の支援について

ク 郷土の歴史資料が閲覧できるデジタルアーカイブ・サイトについて

(5) 環境

ア 第2次宝塚市地球温暖化対策実行計画及び第2次宝塚エネルギー2050ビジョンの概要とポイントは

(6) 観光・産業・文化

ア ウェルネスツーリズム推進事業について

イ アートを通じた観光まちづくり事業の成果と展望について

3 宝塚大橋の修復工事に伴う諸課題について

(1) 全国初の「ガーデンプリッジ」として兵庫県が肝入りで建設した宝塚大橋を本市はどう評価しているか

(2) 橋梁の耐震補強工事に続く修復工事において、舗装材の仕様変更、シェルターや花壇、モニュメント、小噴水の撤去など大きな意匠変更が行われようとしている。県と市の協議の経緯と今後について聞く

(3) 観光プロムナード構想及び野外アートミュージアム構想は生きているか

(4) 先人たちが築き上げてきた「文化芸術都市」「国際観光都市」として景観や

	緑、芸術文化などをどう守り、未来に継承していくか 4 山崎市長の政治姿勢について (1) 先の市長選挙において「どの政党、どの議員とも等距離」と強調された真意は (市民ネット宝塚 寺本 早苗 議員)
8	1 新型コロナウイルスワクチン接種の申込みと接種について (1) 市民の声より、「混乱が予測できる中で、なぜナンラ対策がされなかったのか」などあるが (2) 自治会に依頼された予約用紙・封筒配布に協力する自治会数と協力自治会エリアの接種対象者数の総数は (3) 自治会及び個人から郵送方式などによる予約受付により、予約受付業務が急増すると予測されるが、受け付ける市としての体制は大丈夫なのか (4) インターネットや電話での予約と二重になる可能性があるがどうされるのか (5) 接種希望医療機関との調整が必要になると見込まれるが円滑な調整はできるのか (6) ワクチンは、予約受付数に応じ必要数は確保されるのか 2 厳しい財政状況に新市長はどう対処されるのか (1) 山崎市長との対談で前市長は、「時には心を鬼にして、断行しなければならない行財政改革がある。みんなにちゃんと説明責任を果たして情報公開して、「協力をお願いします」とやっていかないと次の世代に大きなツケを残すことになります」と述べられていますが、後継市長として、市長選挙の結果を踏まえて、どう対処されますか (2) 今後必要額の増加が見込まれる、市債管理基金100億円、公共施設等整備保全基金30億円の数値目標案と積立てはどうされるのか (3) 「財政見直し」について 3 新ごみ処理施設整備事業、事業費について (1) 新ごみ処理施設等整備・運営事業にかかる債務負担行為 681億2,775万円（債務負担行為、令和4年度～令和29年度）の内訳について (2) 施設等の整備費・20年間の運営事業費（DBO方式）とはいえ、高額になった要因は (3) 国からの補助及び起債対象外になる事業と費用について (外構工事一部・管理棟一部・車庫棟・解体工事の一部等)

- (4) これまで場内に埋め立てられてきた汚染土壌撤去及び解体工事に伴うダイオキシン・アスベスト（外壁・天井等）の除去と周辺住宅・住民への影響について

4 中山五月台小学校・中山五月台幼稚園の跡地と施設の利活用について

- (1) 中山五月台小学校は、指定避難所として位置づけられ、選挙の投票所としても活用されているが、今後どうされるのか
- (2) 建物について「公共施設（建物施設）保有量最適化方針」では、解体または転用とされ、「敷地全体での公益性の高い土地活用を検討する」との方向性が示されていますが、具体的にはどうされるのか
- (3) 「解体するにしても『宝塚市学校施設長寿命化計画』との関係もあり、解体費用の予算化は厳しく、解体されずに長期にわたり放置されるのでは」との声もありますが、どうされるのか
- (4) 開発業者からの寄附や立替え施行なども含めて、整備された地域の公共財産（小学校・幼稚園）ですが、地域の声はどうされるのか

5 「学校運営を巡る諸課題に対する今後の対応方針について」の通知後について

- (1) 教頭の負担軽減「（１）管理職による職員退勤後の鍵締めの廃止、（２）教頭の授業時数（固定時間）の廃止については、本年４月から実施する」と通知されているが
- (2) 職員会議の在り方の是正「令和３年４月から職員会議の議事録(議題、発言者、発言内容の概要、結果)を作成し、公文書として管理保管する」と通知されているが
- (3) ２項目以外の運用及び徹底について
- (4) 申入れ後における、教職員組合との交渉状況及びホームページでの公表は

6 宝塚大橋橋梁補修補強工事に伴う、ブロンズ像や花壇などの撤去について

- (1) 「ガーデンプリッジ」の経緯と今回の兵庫県による補修補強工事における宝塚市との協議経過について
- (2) 撤去が計画されている、「渚」、「鷗」、「愛の手」のオブジェの残置について
- (3) 観光プロムナード構想及び野外アートミュージアムとしての整備方針確立について

7 コロナ療養者や要介護３まで、郵便投票制度の拡大を早急に

- (1) 宿泊施設や自宅での新型コロナウイルスの療養者を郵便投票の対象者にできないのか
- (2) 介護保険の要介護状態区分が要介護３の認定者まで、郵便投票拡充が必要ではないか

(令和安全の会 北山 照昭 議員)